

健康で活き活きと働ける職場を目指して クラブハウの「健康経営」

健康経営とは

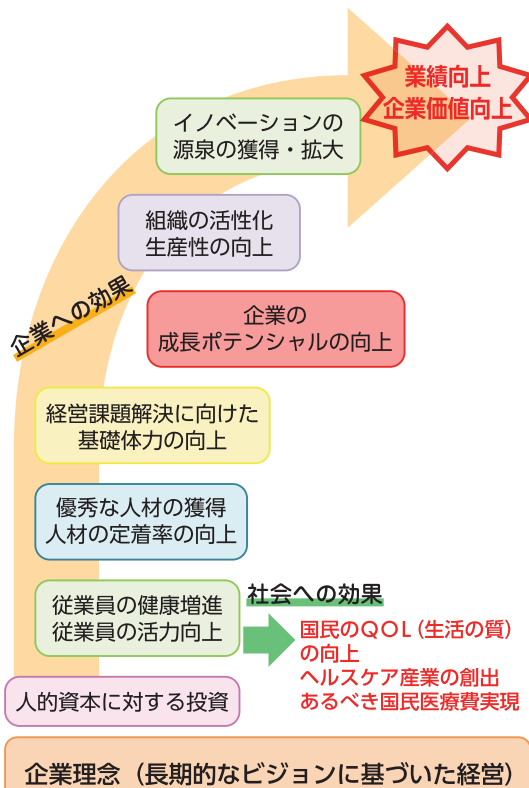
健康経営とは、従業員の健康管理や健康増進の取り組みを経営的な視点で戦略的に実行することです。

企業理念に基づき、健康経営に取り組むことで、従業員の皆さんの活力向上や生産性の向上など組織の活性化をもたらし、結果的に会社の業績向上につながるとされています。

健康経営の主なメリット

- ① 従業員の健康活力増進
- ② 生産性、業績向上
- ③ 組織の活性化
- ④ 企業価値向上

国も、成長戦略である「日本再興戦略」の中で、国民の健康増進を図る国策の一つとして「健康経営」の普及・推進を掲げています。



（出典）経済産業省HP「健康経営の推進について」

■健康経営の主な取り組み

		～2017年度	2018年度～ （健康経営取り組み開始）
方針・教育			- 基本方針を明文化しコーポレートサイトで公表 - 社内研修等で周知
実施施策	健診	- 生活習慣病健診 - 脳ドック - 特定保健指導	- 大腸がん、乳がん、子宮頸がん検診 - 若年者保健指導
	感染症対策	- インフルエンザ予防接種の社内実施、補助 - クレンゼ消毒液配布	クレンゼマスク配布
	喫煙対策		- 喫煙所の完全分煙化 - 禁煙外来受診費用補助
	メンタルヘルス対策	- ストレスチェック実施 - 電話相談	
	体育奨励	- クラブ活動奨励、補助 - ウォーキング奨励、補助	
	労働時間管理	勤怠管理システム導入	- フレックスタイム制度、テレワーク制度導入 - 時間単位有休制度導入

クラブハウの健康経営

クラブハウの健康経営の基本方針は、「社員が個々の能力を最大限に発揮し、健康で活き活きと働ける職場づくりを推進します」です。

人事部が中心となり、倉紡健康保険組合と協働で、生活習慣病健診・がん検診等による予防対策、メンタルヘルス対策、保健指導・健康増進対策を中心に、さまざまな健康保持増進の施策に取り組んでいます。



「健康経営優良法人」に

連続認定

クラブウは本年3月、健康経営の取り組みが認められ、昨年に引き続き「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定されました。

健康経営優良法人とは、経済産業省等が主催する顕彰制度です。健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、取引先等から社会的評価を受ける環境を整備することが目的とされています。

藤田社長からのメッセージ

当社は創業当初から、工場内に寄宿舎や診療所を設けるにとどまらず、社員やその家族が利用できる総合病院を設立・運営するなど、労働環境の改善や福利施設の充実に努め、従業員の健康管理に注力してきました。

また、90年以上の歴史のある全クラブウ球技大会の開催など、従来から健康増進施策を積極的に行っており、これら先代のクラブウDNAが今の健康経営の取り組みに少なからずつながっていると言えます。

中期経営計画「Creation'21」では、「イノベーションによる収益拡大と企業価値の向上」を基本方針とし、重点施策の一つとして「多様な人材の活躍推進」を掲げ、多様な人材が個々の能力を最大限に発揮し、健康で活き活きと柔軟に働ける環境・制度の整備に取り組んでいます。これらの考えの下支えとなるのが「健康経営」であり、CSRやD&Iと同様に重要な経営課題の一つです。

疾病の早期発見・早期治療に

つなげる定期的な健診受診、新型コロナウイルス感染症などの感染対策、勤怠管理システムの活用による長時間労働の是正やフレックスタイム制度を活用したワークライフバランスの実現など、一つ一つの新たな取り組みにより、着実に健康的な方向に前進しています。

当社は今後も、皆さんの健康意識が高まるような健康経営に向けたさまざまな施策を推進してまいりますので、積極的に活用し、健康で活き活きと働ける職場づくりを目指しましょう。



今後の取り組み

今後は次の2点を中心に健康経営の質の向上に努めていきます。

- ①現在実施している各種施策の効果検証を行い、さらに有効な施策へと改善していきます。
- ②従業員の皆さんの新たな健康課題を的確に把握し、有効な対策が図れる施策を実施していきます。

引き続き、健康経営を推進し、皆さんの健康と会社の発展のために、有効な取り組みを実施していきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（労政課 流尾 幸司 記）

基本方針
社員が個々の能力を最大限に発揮し、健康で活き活きと働ける職場づくりを推進します

健康経営

健康診断
予防対策

保健指導
体育奨励

メンタル
ヘルス